

伊豆沼・内沼 サンクチュアリセンターニュース vol.73



ケリの親子。この鳥は早春に田んぼの中や畦の上に営巣するため、田起こしによって不幸にも営巣をやめてしまうことも少なくないようです。写真の場所は休耕田であったため、無事にヒナが孵りました。

平成28年7月号

調査・研究

伊豆沼においてマコモの植栽を実施

ヨシ原とハス群落広がる夏の伊豆沼・内沼。しかし、ヨシ原とハスの間には植物がありません。実は、ここにあった植物が姿を消してしまったのです。姿を消した植物の代表が「マコモ」です。水田では雑草として嫌われるほど繁殖力が強い草ですが、沼では姿を消してしまいました。マコモは水際に生えるため、魚が産卵し、生まれた稚魚の隠れ家になります。また、生息する鳥の営巣場所になります。このようにマコモは伊豆沼の生き物にとって重要な存在ですが、1980年の洪水によってマコモ群落の多くが失われてしまい、その後回復していません。どうやら、近年では沼の水位が高く管理されていること、ハクチョウが地下茎を掘ってしまうことが影響しているようです。私たちは、沼の鳥類や魚類のため、マコモ群落の復元に取り組んでいます。そこで、マコモを水鳥や高水位から守るため、沼で間伐したヤナギの枝を利用することにしました。枝を束ねた漁礁の間にマコモを入れて植えることで、水鳥による食害を防ぐことができます。また漁礁は初め水に浮くため、水を吸収し着底する間に成長するので、高水位でも水没せずに、根を張ることができます。この方法であれば、現在の伊豆沼・内沼でもマコモ群落の復元が可能になると考えています。様々な工夫を通して沼の自然再生にこれからも取り組んでいきます。

お知らせ

ハス刈りを実施しています

ハスは現在沼の85%を覆っています。ハス祭りという重要な地域資源である一方で、アサザなどの在来希少植物を駆逐したり、枯死して泥化することで、水質に悪影響を与えます。中でも喫緊な課題は酸欠です。ハス群落の中では、空気中から酸素の供給がなくなる上、バクテリアなどの活動で酸素が消費されるため、酸欠となります。そのレベルはほぼゼロに近く、魚や貝が生息できない死の世界となります。そのため、私たちは船上にハス刈り機、通称”ハス刈り君”を設置した方法でハス刈りを行っています。これまでの知見で沼には東西方向に少し蛇行する形で水の流れがあることがわかっています。伊豆沼漁協に協力をいただき、ハス祭りに影響しない範囲で、その流れに沿って少し幅をもたせたハス刈りを行っています。これによって水の流れが促進され、ハス内に酸素が供給されることが期待されます。



ハス刈りの様子

ニシキギ植栽活動と水生植物の観察会を行いました。

6月4日、玉沢小学校と東北電力の皆さんが、サンクチュアリセンター前のマイロードの植込みに、ニシキギ60本を植栽しました。植栽活動は今年で19年目になります。ニシキギの実は小鳥の食物になり、伊豆沼周辺の環境整備に役だっています。植栽終了後には、水生生物の観察を楽しみました。生徒の皆さんは魚などの説明を真剣に聞いていました。



植えたニシキギの前でニコリ



水生生物の観察



ニシキギ植栽

普及・啓発

コスタリカの方々が視察に訪れました！

中央アメリカにあるコスタリカの環境省職員が、伊豆沼・内沼の環境保全活動の視察に訪れました。カリブ海に面し、エコツーリズムが盛んな環境先進国として知られるコスタリカ。伊豆沼・内沼で行っている外来魚駆除活動などを視察しました。胴長を履いて沼の中に入った皆さんからは、「駆除に使用する人工産卵床を見ながら、ボランティアの方はどれくらい参加していますか」など、さまざまな質問がありました。コスタリカは国土の4分の1が国立公園という環境先進国。今回の交流で学んだ互いの長所を、それぞれの取り組みに活かしていきたいと思います。



沼の中で解説



コスタリカ環境省の職員たち

伊豆沼・内沼 生き物図鑑

オオルリハムシ *Chrysolina virgata*

6月から9月にかけて、やや湿った草地にあるシロネの葉の上にちよこんと大きなきれいな虫がくっついていることがあります。オオルリハムシという名前の虫で、日本在来のハムシのなかまで最大です。青色や緑色や赤色などの光沢のある美しいハムシで、東日本を中心に分布していますが近年は数が減ってあまり見られなくなり、多くの県のレッドデータブック(絶滅のおそれのある野生動植物)に入っています。伊豆沼・内沼では今も多く生息していますので、シロネがまとまって生えているところで見ることができます。



伊豆沼のオオルリハムシ



食草(食べる草)のシロネ

〈事務局〉

(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
〒989-5504 宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217
E-mail: izunuma@circus.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://izunuma.org>